



看護師
横田 朝美

大切な子宮頸がん予防と早期発見・治療

春の暖かさを感じられる季節となり、新年度が始まりました。皆様におかれましては健やかにお過ごしのことと存じます。
今回は子宮がん検診についてお話したいと思います。

子宮頸がんについて

子宮頸がんってどんな病気

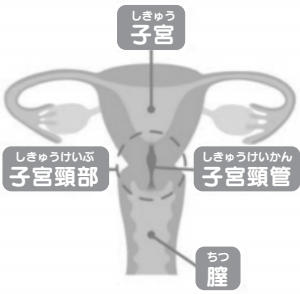
子宮は妊娠した時に胎児を育てる場所になる体部と、出産のときに産道の一部となる頸部に分けられます。
このうち、頸部にヒトパピローマウイルスが感染し発生するのが子宮頸がんです。

原因

ほとんどは、ヒトパピローマウイルス(HPV)というウイルスの感染が原因で発生します。
HPVは、性的接触により男性にも女性も感染します。
また、生涯に女性がHPVに感染する割合も、全女性のうち少なくとも80%と推定されています。

症状

通常、初期にはほとんど自覚症状がなく進行するにしたがって生理以外の出血(不正出血)や性行為の際の出血などがあります。



予防方法について

予防方法としては2つあります。

1. HPVワクチン接種

小学校6年生から接種可能で、接種は公費で受けることができます。
初めての性交渉の前までに受けることで予防効果が高まります。
当院でもHPVワクチンの接種を行っています。
お子様が小学校6年生になったらできるだけ早く予防接種を受けましょう。

2. 定期検診

ワクチン接種だけですべての子宮頸がんが防げるわけではありません。
定期的な子宮頸がん検診を受けて早期発見、早期治療が行えるようにしましょう。

熊本市では、本市に住民票があり年度内に誕生日を迎えて20歳以上の偶数年齢になる女性を対象に公費子宮頸がん検診を行っています。対象年齢の方へ子宮頸がん検診の案内のハガキがご自宅へ届きます。それを機会に子宮頸がん検診を受けるようにしましょう。熊本市以外の方はお住いの市町村の行政にお尋ねください。

当院でも、当院で出産された方を対象に出産して1年が経つ方へ子宮頸がん・乳がん検診クーポン券を配布しております。
ぜひご利用ください。※予約が必要です。

(通常) 子宮頸がん検診＋経膈超音波検査:5500円
乳房超音波検査料:3300円 合計 8800円 ⇒ クーポン券利用の場合7700円(税込)で受けられます。

早期発見・治療について

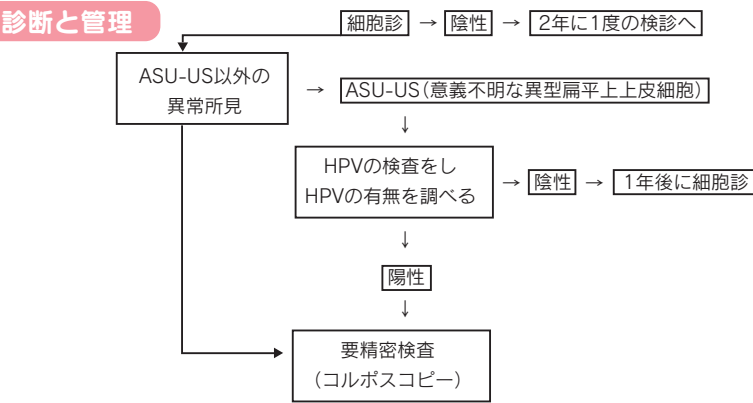
外来での検査のながれ

問診票記入 ⇒ 医師との問診 ⇒ 診察および細胞診検査



《検査方法》

子宮の入り口をブラシでこすり検体を採取します。
生理中でも検査はできますが出血が多いと正しい検査結果が出ないこともある為生理中を避けて来院をお願いします。
検査結果は当日には分からないため、後日結果説明へ来院していただきます。



コルポスコピー後の検査と指針

異常なし:定期的な検診へ
CIN1(上皮内癌)またはCIN2(子宮頸部上皮内腫瘍):HPVタイピング検査を行います
CIN3:円錐切除

HPVタイピング検査は、どのHPV型に感染しているかを調べることができ、子宮頸がんの発症リスクが予測できます。
HPV16/18/31/33/35/45/52/58の8タイプいずれかが陽性のCIN2は病変がCIN3へ進展するリスクが高いと言われているため、ただちにレーザー治療や円錐切除の治療も容認されています。

レーザー治療

子宮の入り口の異型成が発生した部分にCO2レーザーを照射し、病変を焼く治療です。
レーザー治療は、外来で日帰りで行える検査です。

円錐切除

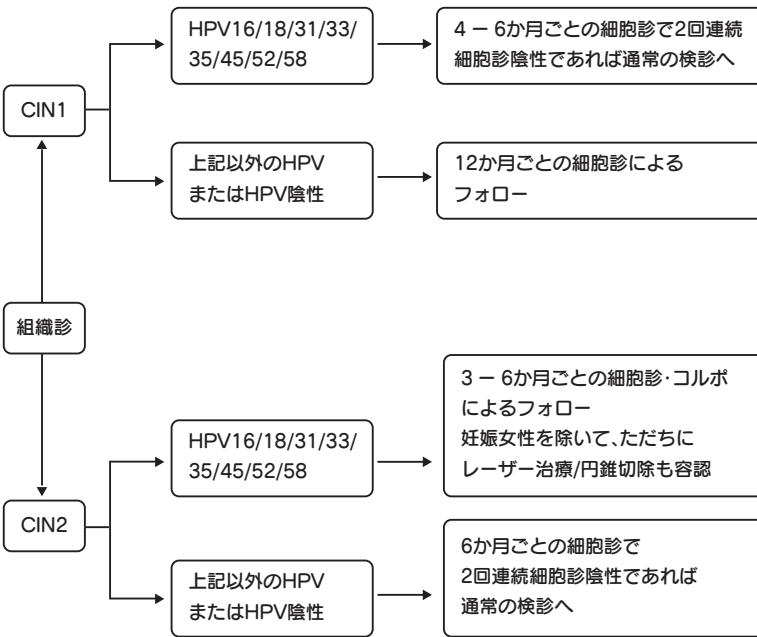
子宮の入り口部分である子宮頸部の一部を円錐状に切り取る手術です。
子宮の入り口部分である頸部を切り取るため、術後妊娠をした場合は早産のリスクが高まります。
当院でも、1泊2日で円錐切除の手術を行っています。

コルポスコピーとは

子宮頸がんや膣内の病気を調べる検査で、拡大鏡を用いて子宮の膣部や頸管、膣を観察するもので痛みは伴いません。検査時に酢酸という酢の一種の液体を使用し膣部に塗布します。
肉眼あるいはコルポスコープで疑わしい病変が認められた時には、数mm大の組織を1個から数個切り取り採取します。軽度の痛みと出血を伴いますが、出血に対してはガーゼを挿入し圧迫を行います。通常ガーゼによる圧迫で止血可能ですが、妊娠中は子宮の血流が多いため、止血縫合が必要になることもあります。

コルポスコピー検査は、当院でも予約制で月・木の午前中に外来での検査が可能です。

HPVタイピング検査



最後に

子宮頸がんが身近にあることだということを知っていただけましたでしょうか。
子宮頸がんは、若年者に多いとされています。また子宮頸がんは早期発見・早期治療をすることで治すことができます。もし発見が遅れてしまうと、子宮を摘出しないといけなくなり今後の妊娠・出産にも影響します。
みなさん、子宮頸がん予防や、検診を定期的に受けるようにしてくださいね。